



南が丘通信

教育目標

進んで学び深く考え、積極的に行動する人
 思いやりの心を持ち、互いに協力する人
 心身ともに健康で、創造力のある人

練馬区立南が丘中学校

校長 宮田 健史

〒177-0035

練馬区南田中 4-8-23

TEL 03-3904-5782

URL <https://www.nerima-ky.ed.jp/minamigaoka-j/>

令和5年度 特別号 令和6年3月8日発行



令和5年度 学校評価アンケート結果報告及び自己評価

- 1 実施方法 Google forms による意識調査
- 2 実施時期 令和5年10月～11月
- 3 調査人数 生徒 243名 (82.9%)、保護者名 186名 (63.5%)、教職員 24名 (100%)
評議員 7名 (77.8%)
- 4 調査結果 肯定的な意見を抽出 (4段階中「そう思う」「やや思う」の割合)

NO	質問	生徒	保護者%	教職員	評議員
1	生徒は学校に行くことが楽しいと感じている。	76.5%	74.1%	87.0%	85.7%
2	生徒は安心して学校に通うことができている。	88.5%	83.8%	95.7%	85.7%
3	授業は1時間の「めあて」が明確になっている。	72.0%	72.4%	100.0%	100.0%
4	一人一人の生徒を大切に、個に応じた学習指導(はたらきかけ)がされている。	74.1%	70.8%	100.0%	85.7%
5	話し合い活動・発表活動・読書活動など言語活動を重視した授業が進められている。	89.3%	81.6%	95.7%	85.7%
6	生徒用タブレットなどICT機器を活用した授業が進められている。	89.3%	84.9%	78.3%	71.4%
7	明けテストや学習教室を行い、家庭学習の習慣が進むような取組をしている。	83.5%	77.8%	95.7%	100.0%
8	習熟度別少人数学習により、意欲や学力を高める取組が進められている。	85.2%	75.1%	95.7%	100.0%
9	保健体育科の授業を中心に、十分な運動量を確保する取組が進められている。	94.4%	82.7%	95.7%	100.0%
10	生徒の学力、能力、努力を適切に評価している。	83.5%	72.4%	100.0%	85.7%
11	生徒一人一人が大切にされ、生徒の気持ちに寄り添った対応が行われている。	74.5%	70.3%	100.0%	85.7%
12	生徒が学校生活の決まりを守れるよう適切に指導している。	88.5%	85.4%	100.0%	71.4%
13	生徒は「あじみこし」(あ:挨拶、じ:時間、み:身だしなみ、こ:言葉遣い、し:姿勢)の大切さを理解できるような指導(はたらきかけ)が行われている。	83.5%	84.9%	95.7%	85.7%
14	いじめ未然防止のための生活指導・教育相談・環境整備に努めている。	78.2%	72.4%	100.0%	85.7%
15	家庭と協力し、インターネット・SNSトラブルの未然防止に努めている。	80.7%	68.6%	82.6%	85.7%
16	将来の生き方を考えさせたり、体験させたりする適切な進路指導が行われている。	81.9%	64.9%	100.0%	85.7%
17	三者面談・キャリアパスポート・進路希望調査などを通じて家庭と連携し、適切な進路指導が行われている。	85.6%	71.9%	95.7%	71.4%
18	運動会や文化発表会などの学校行事では、生徒が中心となって活動している。	93.8%	92.4%	100.0%	100.0%
19	生徒会・委員会活動などの生徒の主体的活動を促す指導(はたらきかけ)が行われている。	93.0%	85.9%	100.0%	100.0%
20	部活動の指導は適切に運営がされている。	88.1%	80.5%	95.7%	85.7%
21	特別支援教育に力を入れ、生徒同士の交流や共同学習を進めている。	84.4%	76.8%	82.6%	85.7%
22	授業体験や行事を通して南が丘小・南田中小と連携する活動を進めている。	76.1%	85.9%	100.0%	100.0%
23	セーフティ教室、避難訓練、などの安全指導の充実に取り組んでいる。	86.8%	89.7%	100.0%	100.0%
24	掃除が行き届き、施設・設備を含めてよりよい環境の整備に取り組んでいる。	86.4%	89.7%	100.0%	100.0%
25	給食の献立は工夫され、栄養のバランスが良く、安全である。	92.2%	85.9%	82.6%	100.0%
26	保護者や地域の方々は学校行事や授業公開に参加しやすい。	69.1%	85.4%	100.0%	85.7%
27	電話をしたり学校を訪問したりした際の教職員の対応は親切で好感がもてる。	—	88.1%	100.0%	85.7%
28	学校は保護者・地域に対して、学校の教育内容等を学校だよりやホームページ等で積極的に発信している。	—	85.4%	95.7%	85.7%
29	学校は保護者・地域と連携しながら学校を運営しようとしている。	—	81.1%	95.7%	85.7%

5 自己評価結果

(1) 確かな学力の定着・体力の向上につながる授業の実践

- ① 生徒自身がその授業のねらいを意識して取り組むことが大切であり、毎回、授業後に「めあて」が達成できたのかを確認する。各教科で行った生徒授業アンケートでは 96%が授業のねらいが示されていると回答していた。
- ② 適応推進委員会を中心に、支援が必要な生徒への対応について検討し、外部機関と連絡を密にしてケース会議を開くなどの対応を行っている。学び方を指導するなどして、個に応じた学習指導を進める。
- ③ グループ内でお互いの意見を検討したり、タブレットを用いて発表や意見交換を行う機会を多く設けたりした。さらに対話的協働的な学習を、全教育活動を通して推進していく。
- ④ 発表資料作成等ではタブレットを活用し、書くことが苦手な生徒の意欲や発表内容の向上が見られた。保健体育で自分の動きや理科の実験結果を撮影し、後からでも結果を見ることができるなど、改善することができた。
- ⑤ 明けテストと学習教室の実施に加え、現実的な家庭学習（時間から質への変換）のあり方を検討し、本年度より始める。今後は効果的な学習方法を決め、保護者と共通理解を深め、定着を図る。
- ⑥ 習熟度別少人数授業では、生徒が自分のペースで学習することができるので、この取組を好意的に受け止めている。来年度も効果的に進めていく。
- ⑦ 毎時間、サーキットトレーニングを行い、筋力を付ける取組を保健体育科で行っている。
- ⑧ 不適切な評価を出すことがないように、年度当初に評価計画を提示するとともに、毎学期、教員同士で相互点検も行っている。授業内での評価と結果を生徒に伝え、どうすればより良くなるかを共に考える時間もつくりたい。

(2) 規範意識の高い、心豊かな生徒の育成

- ① 多様な生徒・保護者に対応できるよう、教員自身が学びを重ねていく。学校では年間3回の生活アンケートや長期休業明けのアンケート、トーキングタイム等を通し、全教員がチームとして生徒対応している。問題発生時の保護者連絡も迅速に行っている。性暴力の防止では全教職員が一丸となって取り組んでいる。
- ② 生徒や保護者の意見を反映させ、学校生活のきまりを改訂している。さらに、来年度から夏用標準服としてポロシャツを導入することを決めた。着用のルールを生徒に考えさせる取組を行う。
- ③ 「あじみこし」について、校内での取組はとても良く、保護者や来校者からも高い評価を受けている。さらに、社会生活の中でも発揮できるよう、「し」の「物事に向かう姿勢」を指導の柱に据える。
- ④ 4月に情報モラル教室を実施したが、スマートフォンを通してのトラブルがあった。未然防止は非常に難しい課題だが、生徒と保護者に正しい使用方法について情報提供し、共通認識をもって取り組んでいく。

(3) 夢や希望を育む進路指導

- ① 本年度も職場体験を実施することができた。また、3月に1年生対象に区内で活躍している方を講師にお招きし、「職業人の話を聞く会」を行った。
- ② 生徒の将来の社会的自立を目指し、3年間を見通したキャリア教育が実施できるよう、全体計画・年間計画を構築中である。

(4) 主体的に関わることでできる学校行事、諸活動の実施

- ① 新型コロナウイルス流行以前のような形で、運動会や移動教室、合唱コンクール等の各行事を実施することができた。生徒が中心となって運営する伝統を継続していきたい。
- ② 毎月の生徒会朝礼などを通し、活動方針や内容を積極的に発信している。また練馬区生徒会交流会に参加し、他校の取組を意欲的に学んでいる。

③ 部活動については、スポーツ庁・文化庁のガイドラインを遵守し、適切に運営している。

(5) 特別支援教育・小中一貫教育の推進

- ① 合同行事を通して、互いの良さを伝えあうことができた。通常級とのスポーツ交流は3学期の取組である。来年度は年間を通じて行う。
- ② 小中合同の「挨拶運動」を2回、小学生による中学校体験、リトルティーチャーなどの活動を行った。中学校体験の事後アンケートでは、小学生より高評価を得た。来年度も続けていく。

(6) 安全・健康への配慮

- ① 生徒の素早い判断力と行動力を向上させるため、毎月、避難訓練・安全指導を実施している。
- ② 特別教室の不要物・危険物を夏季休業中と2学期に廃棄した。生徒は日々の清掃活動等にしっかり取り組んでいる。
- ③ 今年度、転入した栄養教諭が中心となり、栄養・衛生管理を適切に行った。給食は味もよく、保護者と生徒からも高い評価を得ている。

(7) 地域に開かれた学校づくり

- ① 運動会・文化発表会も PTA の協力により、全学年の保護者に観覧いただくことができた。学校公開も一年を通じて9回行った。
- ② 電話や来客への教職員の応対について、ご意見をいただくこともあったが、全教職員の共通認識を図り、より丁寧な対応ができるよう、改善を進めている。
- ③ 学校だよりやホームページを活用し、積極的に情報発信を行うことができた。
- ④ 学校アンケートからいただいた意見を踏まえて、保護者・地域と連携しながら、学校運営の改善を進めていく。

6 学校評議員より

(1) 成果

- ① 2年のスキー保護者会で進路指導主任から学年を超えて進路について話してくれたことがとてもよかった。楽しい行事に子供は気持ちが向きやすく、保護者も耳を傾ける場面なので、タイミング的にもよかった。
- ② 問4(個に応じた指導)問7(家庭学習)についての保護者の評価が上がっている。また、運動会・部活動についての評価も高く、保護者に見える部分(見えやすい部分)で安心していただけているのは、非常に良いことだと感じている。
- ③ 「ほっとすルーム」(校内別室)は学校の成果だと感じている。導入もスピーディーで不登校対策にもなっている。
- ④ 体験型の行事での事前・事後学習の発表を繰り返し行っているため、発表・プレゼンテーション能力は上がっているように思う
- ⑤ コロナ禍後の生活、授業、行事等に以前のような形で行いたいという想いが戻ってきているのではないかと思う。(質問1、2、18について)
- ⑥ タブレットの利用については、体育の授業での使い方(自分の動きを撮影し、良くない点を自分で確認し、改善する)をしていることに時代が進んでいることを感じた。
- ⑦ 制服について困っていることなどを拾い上げて改善しようとする取組は、生徒や保護者にとっては非常にありがたいことだと思う。

(2) 課題

- ① SNS等のトラブルは未然防止での自己評価が低いことが課題である。SNSでのトラブルは、コミュニケーション能力が低いことが原因だと考えられる。地域の大人と話す機会が大切である。一人一人に寄り添う対応は、SCやSSWを活用するなど、多くの機会を活用してほしい。

- ② 小中の連携では、あいさつ運動年2回は季節的なもの、リトルティーチャーやシューズバンクは一部の生徒であることが、生徒の評価が低い要因ではないか。実際には挨拶運動は、小学校側からしてもありがたい運動で増やせるのであれば増やしてもらいたいという意見もある。
- ③ 教員の過密労働はなんとかしていかねばと感じる。子供たちに向けた時間を確保することが大切。金八先生が良い先生だと感じたが、金八先生が事務作業している姿は見たことがない。先生が子供に迎える時間が増えてほしい。
- ④ 学生の教員希望も少なくなっている。やりたいけどできない状況がある。学校の課題というよりは国全体の課題にはなる。学校として改善というよりはシステム的な変更が必要と思われる。

(3) 改善策

- ① アンケートで教職員と生徒で開きがある項目は要注意である。生徒の中には、どうせ言っても変わらないと思っている部分もあると思うが、コミュニケーションをとって生徒の不安を受け止めることが大切である。
- ② 「ほっとすルーム」(校内別室)の開設はよかった。今後、どのように門戸を広げていくか、どのような対応ができるかさらなる進化が必要である。
- ③ 個に応ずることは難しいが、学校としてどこまでできるか明確に示していくことが大切である。また、SSWなどに頼れる部分は頼りながら、先生方に無理ができないようにバランスをとって進めてもらいたい。

本年度も本校の学校教育活動に多大なるご支援をいただきありがとうございました。

生徒・保護者・教職員・評議員の皆様からの様々な意見を分析し、令和5年度の自己評価を作成いたしました。すべての行事を実施することができ、生徒の意欲の高まり、心身の成長、学力の向上を感じることができました。

またアンケート結果より、学校での教育活動を保護者に理解していただくための取組をこれからも積極的に進めていく必要があると感じました。本年度の課題を学校全体で共有し、組織的に改善をすすめてまいります。

次年度も、保護者・地域・感謝の皆様の一層のご支援ご協力をお願いします。

【問い合わせ先】

練馬区立南が丘中学校 職員室
電話 03-3904-5782